



杉並区立 杉森中学校
学校だより 第337号
平成25年10月31日
平成25年度 第6号

「体力、知力！そして表現力」

校長 大橋 亮介

先月、I O C総会で2020年オリンピック・パラリンピック開催地が東京に決定したことは記憶に新しい。また、54年ぶりに東京で開催された国民体育大会（スポーツ祭2013）は、オリンピック・パラリンピックの決定後でもあり、盛況のうちに閉幕した。体育の日に行われた全国的な体力測定では、小中高校生の体力も上向き傾向にあり、特に、70歳代の体力は過去最高となり、健康志向の上昇が顕著になってきた。以前から社会を取り巻く様々な環境から、小中高校生の体力低下は社会問題となっていた。中でも東京の子供たちは全国平均を下回る体力であった。そのため、東京都教育委員会では、子供たちの体力向上に力を入れた。本校でも、体育の始業前に5分間走を継続し、体力向上に努め、持久力の向上に成果を出している。

7年後のオリンピック・パラリンピックには、生徒が20～22歳の立派な大人。選手として出場するかもしれないし、大会運営支援などのスタッフとして貢献できる年齢でもある。まずは、中学生の今から心身を鍛え、社会貢献ができる成人になってくれることを願っている。

今回、オリンピック・パラリンピック招致で学んだことがあった。それは、日本代表のプレゼンテーション、表現力の高さである。

中でも、パラリンピック走り幅跳び選手：佐藤真海さんのプレゼンには、病气から震災、そして現在の自分までを語り、人々を引き付ける内容であった。流行語になった「お・も・て・な・し」という言葉も、昔から受け継がれている日本の伝統文化そのものである。これらのプレゼンが、I O C委員の人々の心を動かし、東京の開催が決まった。ひと昔前の日本は、ここまで人の心を動かすプレゼンができたのだろうか。日本古来から大切にしていかなければならない心遣い・作法・所作がある。しかし、世界と渡り合うためには、自分の考え、思いなど、伝えるべきことを積極的に表現することの大切さも教えてくれた。

「おもてなし」という言葉は、私が本校に着任した時から生徒に言っている言葉でもあり、「お互い様の心遣い、心構え」で本校においでになられた方には、元気よく挨拶をしてお出迎えする。これが、「本校のおもてなし」である。

杉森生は、中学校3年間で体を鍛え心身ともに健康で、日々の学習に一生懸命に取り組み、体力・知力、そして、自分の考え、思いを人に伝える表現力を高める。これこそ、世界を相手に、これからを生きる子供たちが身に付けるべき力である。そこには、日本語を十分理解した上での英語力も必要であろう。

～ 9・10月のアルバム ～



【 2年 校外学習 】 9 / 2 7 (金)

綿密な事前学習の下、鎌倉班別行動に出掛けました。次の集団行動につなげるよい学習ができました。



【 3年 修学旅行 】 9 / 2 8 (土) ～ 3 0 (月)

古都の歴史・文化に触れる中、集団行動・班行動共に、下級生の模範となる活動ができました。



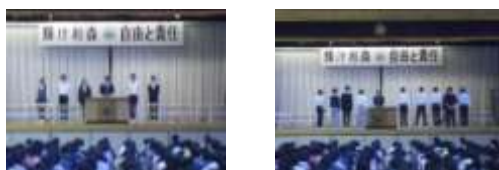
【 小学校運動会ボランティア 】 9 / 2 8 (土)

杉一小・馬橋小の運動会にスタッフとして参加しました。準備や児童管理に16名が活躍してくれました。



【 ふれあい運動会ボランティア 】 10 / 12 (土)

8名のスタッフがきびきび動いていました。競技や応援や手話での交流に、楽しそうな笑顔で参加していました。



【 委嘱状伝達式 】 1 0 / 2 1 (月)

生徒会朝礼で、新生徒会役員および各種委員会委員長への委嘱状伝達がなされ、いよいよ新体制の始まりです。



【 合唱コンクール 】 1 0 / 2 3 (水)

各学級合唱、吹奏楽部演奏に感動の拍手が鳴り響きました。3年全員合唱「IN TERRA PAX」は、圧巻でした。



【 いのちの教育 】 10 / 28 (月)

交通犯罪被害者ご遺族 佐藤清志氏をお迎えし、命について深く考えることのできるお話を伺いました。

【 11月の予定 】

1 (金)	3年三者面談 (始)	8 (金)	3年三者面談 (終)
	小児生活習慣病予防検診	10 (日)	杉並区立中学校連合文化祭 (終)
			美術 技術・家庭科作品展 (終)
2 (土)	杉並区立中学校連合文化祭 (始)	18 (月)	期末考査 (始)
	英語学芸発表会 <セッション杉並>	20 (水)	期末考査 (終)
3 (日)	文化の日 / 都 教育の日		小中合同研究会 <杉一小>
4 (月)	休日	23 (土)	勤労感謝の日
6 (水)	美術 技術・家庭科作品展 (始) <セッション杉並>	30 (土)	杉森祭